

コンサートレポート

「君津シニアアンサンブル」「アゼリア」

第3回演奏会

秋晴れに恵まれたその日は、いつもにも増して『緊張・ワクワク感そして少しの不安が：』

君津シニアアンサンブル「アゼリア」は去る令和6年11月24日に、君津市生涯学習センター多目的ホールにおきまして、第3回演奏会を開催しました。

演奏会当日は、午前中に会場準備（観客の座席はやや弱気で150席を準備）とリハーサル。上総SEさんから司会と受付の応援をいただき、フルメンバーの18人は正装で身を包んで13時30分拍手の中、緞帳が静かに上がりいよいよ開演です。ありがたいことに100人超のお客様にお越しいただきました。第1部は「外国の曲（その1）6曲」、第2部は「日本の曲5曲（うち2曲は斉唱）」そして第3部は「外国の曲（その2）6曲」の構成で演奏しました。時間の経過とともに会場の盛り上がりが伝わってきて、演奏にも熱がこもりアンコールの「宇宙戦艦ヤマト」までアツという間でした。ご来場のお客様から直接いただいたお声やアンケートで、「SEから元気をいただいた。楽しかった。次回も楽しみ。」等々沢山の高評価をいただき、団員一同が充実感と達成感を十二分に味わえた一日でした。

（文責 北元博文）



市原シニアアンサンブルこすもす

△クリスマスコンサート▽

ここ数年、我が団の恒例になつて「クリスマスコンサート」が2024年12月19日「夢ホール」にて開催されました。

大きなクリスマスツリーが飾られたホール内に教会の鐘の音が響き渡ります。オープニング曲はこの印象的な鐘の音から始まる「アメーzingグレース」です。満席の会場全体が一気にクリスマスの雰囲気包まれた様に感じられました。

前半は「結婚行進曲」まで、7曲を演奏。後半では頭にクリスマス帽やカチューシャをつけます。まずクリスマススムードに、「荒野のはてに」、「クリスマス・イブ」、「クリスマスソングメドレー」、お客様も歌で参加の「ジングベル」など、この日にふさわしい選曲で6曲。そして一段と大きな拍手をいただいた団員Tさんの「サントワマミー」のすてきな歌もあり、アンコールに

「聖者の行進」、最後は会場の皆様と一緒に「きよしこの夜」を、クリスマスの余韻を残しての終了となりました。

なじみの曲を揃えたプログラム、団員の熱意ある演奏をお届けできたことで来場の皆様に楽しんで頂けたコンサートになったのではなかろうか。

市原SE
渡辺和代



流山SE・ヴェルデ&3匹の猫の手

ジョイントコンサート3rd

2025年1月11日、お屠蘇気分もそろそろ抜けてきたころ、私たち流山シニアアンサンブル・ヴェルデは年1回恒例の「ジョイントコンサート」を開催しました。今回で3回目になります。「三匹の猫の手」って何？と思われる方いらつしやるでしょう。私たちをご指導してくださっている横林先生ご自身のライフワークで、「プロフェッショナルもアマチュアも、年齢や演出ジャンルなどに拘らず、知り合った多くの方々に演奏機会である『舞台』を提供する」を目的としての演奏会活動です。私たちは、この活動に賛同しジョイントコンサートを開催してきました。

3回目の今回は、大きな目玉を用意していました。それも2つ。1つ目は「幼稚園年長6歳のヴァイオリンソリストのヴァイオリン独奏」2つ目は「当団のフルーティスト御歳96歳の編曲による花嫁人形変奏曲の演奏」です。年齢差実に90歳。現代を超えてどこまであります。もう少しで「1世紀差」です。どちらも素晴らしい演奏となり大喝采を受けました。

私たちにとつて最もうれしかったことは、3回目にして初めて会場を満席にすることができたことです。人前で演奏する以上、できる限り多くの方々に聴いていただきたいものです。500名を超える聴衆の前に感無量のステージでした。

流山シニアアンサンブル・ヴェルデ

代表 岩瀬 進介

